

6年学年だより Believe

令和7年5月19日
第6学年だより
第5号
今週の文責：岩木智恵

長いようであっという間のゴールデンウィークが終わりました。子どもたちは、たくさん遊んで楽しい時間を過ごした人、ゆっくり時間を過ごした人、塾や習い事などで忙しかった人、それぞれ充実した休みの話をたくさん聞かせてくれました。休み明けで少し疲れが見えている子どももいるようです。ここからは、7月の移動教室まで計画を立てながら進んでいく期間になります。無理をしすぎず体調管理をしながら過ごしていきましょう。

宿題の意義

あるとき子どもから「宿題ってなんでやるの？いらなくない？」という話題が出ました。「宿題はなぜあるのか、宿題の意義は何でしょう。」と子どもたちに質問を返してみました。すると、「宿題は大人になるためにある」と一言声があがりました。「どういうこと？」とさらに問い返すと、「習ったことを定着させるため」「約束を守れる人になるため」「習慣にするため」と続けて答えが返ってきました。ただやればいいもの、やらされているものと安直に捉えないところはさすが6年生の考え方だなと感じました。宿題だけではなく、どんなことでも意義を考えてみることを習慣化することで、感情論だけで行動するのではなく、自分で考えて行動する力が身に付き、より良い行動を選択することができるようになるのではないのでしょうか。

6年生になって1か月がたち、一度今の姿を振り返る機会を作りました。1年生のお世話、委員会活動、クラブ活動、クラスでの役割、学校生活だけでも本当に忙しい毎日でしたが、そんな中でも毎日やるべきこと（宿題・掃除・時間を守ることなど）を確実にやっている人がたくさんいます。その積み重ねが信頼関係を構築していくことも子どもたちに伝えました。



家庭科の宿題のお願い

今週、家庭科で調理実習を行いました。炒める料理の第一弾として、スクランブルエッグを作りました。「味付けや固さなど一工夫加えて作る」という宿題を出しましたので、6月14日（土）までにご家庭でも一緒に作る時間とっていただき、作る様子や味についてなど一言感想のご協力をお願いいたします。よろしくお願いいたします。